

第20回オーライ！ニッポン大賞の受賞について

紀美野町と協働で移住定住の取り組みをされている NP0法人きみの定住を支援する会が、都市と農山漁村の共生、対流の拡大に寄与した実績、効果及び持続性の高い団体等を評価されるオーライ！ニッポン会議（都市と農山漁村の共生・対流推進会議）での審査の結果、オーライ！ニッポン大賞を受賞されました。

◆詳細URL

https://www.kouryu.or.jp/information/20250908_4968/

◆問い合わせ先

紀美野町役場まちづくり課内 担当：山本

TEL073-495-3462 FAX073-495-3334

（連絡先）

海草振興局

地域づくり部 地域づくり課

担当：増谷、中山

電話：073-441-3373

第20回 オーライ!ニッポン大賞の決定について（2025年9月）



都市と農山漁村の共生・対流推進会議（オーライ！ニッポン会議 代表：養老 孟司）は、「第20回オーライ！ニッポン大賞」を決定しました。

なお、表彰式については、10月31日（木）に東京コンベンションホール・大ホールB（東京都中央区京橋三丁目1-1 東京スクエアガーデン5F）で開催します。

【オーライ！ニッポン大賞グランプリ】内閣総理大臣賞1件

1. 特定非営利活動法人 SET（岩手県陸前高田市）

【オーライ！ニッポン大賞】3件

2. 特定非営利活動法人鳴子の米プロジェクト（宮城県大崎市）
3. 特定非営利活動法人きみの定住を支援する会（和歌山県紀美野町）
4. 特定非営利活動法人 ASO 田園空間博物館道の駅阿蘇（熊本県阿蘇市）

【オーライ！ニッポン大賞 審査委員会賞】3件

5. ノートルダム清心女子大学×百姓のわざ伝承グループ（岡山県岡山市）
6. やったろう de 高島（長崎県長崎市）
7. 特定非営利活動法人頼娃おこそ会（鹿児島県南九州市）

【オーライ！ニッポン ライフスタイル賞】4者

8. 今井亮輔 氏（北海道壮瞥町）
9. 石坂真悟 氏（山梨県小菅村）
10. 黒川喜美恵 氏（徳島県阿南市）
11. 渡辺督郎 氏（長崎県西海市）

◆第20回表彰式と応募の特典「ふるさとプロボノ支援」進行状況報告

応募者の特典として、希望者に対して、認定NPO法人サービスグラントと連携しふるさとプロボノ活用支援を実施しています。プロボノとは一般の社会人が職業上のスキル・経験を活かしたボランティア活動を行うこと。このプロボノの農山漁村地域での活動を「ふるさとプロボノ」と言います。地域活性化には、交流人口増加だけでなく、関係人口増加の重要性が高まっていることを背景に、この都市からのボランティアを仲介するプロボノ活動は、関係人口づくりの新たな切り口として期待されています。

ふるさとプロボノ支援実施には、当初の相談活動、意思の疎通が行われることが課題であることから、この業務に精通している認定NPO法人サービスグラントのふるさとプロボノと連携実施事業として、都市からの専門家を講師として「どのようなことを地域が望むのか」「課題解決にむけて地域がどう実施したいのか」等のオンラインワークショップの実施や相談活動を実施しております。

+++++

オーライ!ニッポン大賞事務局 （一財）都市農山漁村交流活性化機構内

E-Mail : alrightnippon@kouryu.or.jp

◆オーライ！ニッポン大賞

3. 特定非営利活動法人きみの定住を支援する会（和歌山県紀美野町）



官民協力のもとワンストップパーソンを設置し、19 年間きめ細かな案内相談に取り組み地域に移住した人は 215 人。移住後に生まれた子どもも 30 人ほどになり、過疎化、高齢化が進む農山村地域の担い手となっている。移住者の創業による経済効果は年間約 2 億円。地元の農産物を利用して飲食業や宿泊業を起業する者、農業を始めて耕作放棄地の再生に取り

組む者、高齢農家の農作業を助ける者も生まれている。また、農山村の移住定住に欠かせない、なりわい創りを学ぶ「きみの地域づくり学校」に協力し、移住後のコミュニティ・ビジネスの立ち上げにも貢献している。移住者に優しく寄り添う運営者たちの温かさを感じる。等身大の暮らしをそのまま紹介することを大切にし、移住者の暮らしや仕事づくりを見守り、応援し、PR するというバックサポートの姿勢が貫かれていると移住者に寄り添う姿勢が高く評価された。